



SAP Ariba 

機能の概要

マッピングツールの機能強化により、複数の条件をマッピングおよびグループ化するための追加の論理演算子をサポート

Shipra Goyal, SAP Ariba
一般提供予定: 2202 年 5 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

導入の難易度  ハイタッチ
対象エリア  グローバル

説明: マッピングツールの機能強化により、複数の条件をマッピングおよびグループ化するための追加の論理演算子をサポート

今までの課題

SAP Ariba Cloud Integration Gateway では、現在、マッピング処理でサポートされている演算子は「AND」演算子のみとなっており、グループ化でサポートされている条件数は 2 つまでとなっています。

「OR」演算子や「NOT」演算子を使用して 3 つ以上の条件を組み合わせることができないため、お客様がカスタムマッピングツールを利用できる使用例が制限されています。これらの処理は、XSLT 変換において頻度が高いため、実行できる必要があります。

対象ソリューション

SAP Ariba Cloud Integration Gateway, SAP ERP 向けアドオン

SAP Ariba で問題解決

この機能により、バイヤーは、既存の演算子とは別に、論理演算子の OR および NOT を使用して、マッピングツールで複数の条件をマッピングすることができます。バイヤーは、演算子を使用して、これらの条件をグループ化することができます。

関連情報

この機能は、該当ソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的にオンになっており、すぐに使用できます。

この機能は、マッピングツールのすべてのお客様に対して自動的に使用可能になります。更新された UI により、ユーザーは、ソース/ターゲット式を設定して、各自のビジネスニーズに基づき、選択した演算子を使用して条件の組み合わせを定義することができます。

主なメリット

より多くの機能が提供され、お客様がより柔軟にカスタムマッピングを構築できるようになりました。

前提条件と制限事項

制限事項:
バイヤーが OR、AND、および NOT 演算子を使用してグループ化できる条件の数は、2 以上 10 以下となっています。条件グループの作成に使用される条件を削除したり、並べ替えたりすることはできません。

演算子が選択されていない場合、通常の設定では、AND 演算子が使用されます。

機能の概要

説明: マッピングツールの機能強化により、複数の条件をマッピングおよびグループ化するための追加の論理演算子をサポート

1

Source Conditions, Context XPath:

/ARBCIG_ORDERS/IDOC/EDI_DC40/MANDT

Source Conditions, Full Context XPath:

/ARBCIG_ORDERS/IDOC/EDI_DC40[STATUS='approved'][(TEST='true')/MANDT[.='test 1']

追加の列

Identifier	Condition XPath	Type	Operator	Modifier	Co...	Action
C1	/ARBCIG_ORDERS/IDOC/EDI_DC40/MANDT	VALUE	EQUALS		tes...	
C2	/ARBCIG_ORDERS/IDOC/EDI_DC40/STATUS	VALUE	EQUALS		ap...	
C3	/ARBCIG_ORDERS/IDOC/EDI_DC40/TEST	VALUE	EQUALS		true	

Source Expression

通常設定の AND 演算子

Action 編集ボタン

C1 AND C2 AND C3



- マッピング条件は、通常の設定では、AND 演算子を使用して適用されます。
- 編集ボタンで演算子を変更することができます。

機能の概要

説明: マッピングツールの機能強化により、複数の条件をマッピングおよびグループ化するための追加の論理演算子をサポート

2

The screenshot shows a user interface for defining logical expressions. At the top, there are two argument fields: "Argument 1" and "Argument 2". "Argument 1" contains "C1" and "Argument 2" contains "C3". Between them are radio buttons for "AND" (selected) and "OR". A "NOT" checkbox is also present. A "+ Add" button is on the right. Below this is a table of expression groups. The table has columns for "Group", "Expression", and "Expression". One group, "G1", has the expression "(C1 OR C2)". A message at the bottom states "No top expression group has been set." and a "Close" button is at the bottom right.

Group	Expression	Expression
G1	(C1 OR C2)	✓ 🗑️

- ソースとターゲットの両方のマッピング条件で使用可能な OR および NOT 演算子が追加されています。
- 条件をグループ化することができます。

機能の概要

説明: マッピングツールの機能強化により、複数の条件をマッピングおよびグループ化するための追加の論理演算子をサポート

3

Source Conditions, Context XPath:
/ARBCIG_ORDERS/IDOC/EDI_DC40/MANDT
Source Conditions, Full Context XPath:
/ARBCIG_ORDERS/IDOC/EDI_DC40/MANDT[(contains(normalize-space(/text()),'Test') and ../STATUS='approved') or (contains(normalize-space(/text()),'Test') and contains(/TEST,'true'))]

Identifier	Condition XPath	Type	Operator	Modifier	Co...	Action
C1	/ARBCIG_ORDERS/IDOC/EDI_DC40/MANDT	VALUE	CONTAINS	normalize-space	Test	
C2	/ARBCIG_ORDERS/IDOC/EDI_DC40/STATUS	VALUE	EQUALS		ap...	
C3	/ARBCIG_ORDERS/IDOC/EDI_DC40/TEST	VALUE	CONTAINS		true	

Source Expression	Action
((C1 and C2) or (C1 and C3))	

Target Conditions, Context XPath:
/cXML/Request/OrderRequest/OrderRequestHeader/@parentAgreementPayloadID
Target Conditions, Full Context XPath:
/cXML/Request/OrderRequest/OrderRequestHeader/@parentAgreementPayloadID

- さまざまな演算子を使用して、3つ以上の条件をグループ化することができます。

機能の概要

説明: マッピングツールの機能強化により、複数の条件をマッピングおよびグループ化するための追加の論理演算子をサポート

4

Argument 1 NOT)

Argument 2 NOT)

AND OR

Expression
((C1 or C2) or (C1 and C3))

+ Add

Group	Expression	Expression
G1	(C1 OR C2)	✓
G2	(C1 AND C3)	✓
G3	(G1 OR G2)	<input checked="" type="checkbox"/>

Groups (3/10)

Close

- 最上位条件として実行する必要がある条件をマークします。

機能の概要

説明: マッピングツールの機能強化により、複数の条件をマッピングおよびグループ化するための追加の論理演算子をサポート

Source Conditions, Context XPath:

/ARBCIG_ORDERS/IDOC/EDI_DC40/MANDT

Source Conditions, Full Context XPath:

/ARBCIG_ORDERS/IDOC/EDI_DC40/MANDT[.='Test'][.='test 1']

Identifier	Condition XPath	Type	Operator	Modifier	Co...	Action
C1	/ARBCIG_ORDERS/IDOC/EDI_DC40/MANDT	VALUE	EQUALS		Test	
C2	/ARBCIG_ORDERS/IDOC/EDI_DC40/MANDT	VALUE	EQUALS		tes...	

Source Expression	Action
C1 AND C2	

Target Conditions, Context XPath:

/cXML/Request/OrderRequest/OrderRequestHeader/@parentAgreementID

Target Conditions, Full Context XPath:

- 異なる条件に対して同じソース xpath をチェックできるようになりました。

フォローをお願いします。



www.sap.com/contactsap

© 2022 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。

本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、関連プレゼンテーション、および SAP SE またはその関連会社の方針および予定されている将来の開発、製品、またはプラットフォームの方向性および機能は、すべて変更される可能性があり、SAP SE またはその関連会社は随時、理由の如何を問わずに事前の予告なく変更できるものとします。本書に記載された情報は、いかなる品目、コード、または機能の提供の確約、保証、または法的義務を表すものではありません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する詳細の情報や通知に関しては、www.sap.com/copyright をご覧ください。